



支援センター職員が
活動内容取材しま
した！

～いずみ区民活動支援センター～

訪問記

No.190

＝訪問日＝
2025年6月3日



中川きりえ

中川きりえは、2014年に開催された干支の切り絵講座の受講者が中心となり、2015年4月からサークルとして発足しました。現在は、月1回中川地区センターで活動しています。



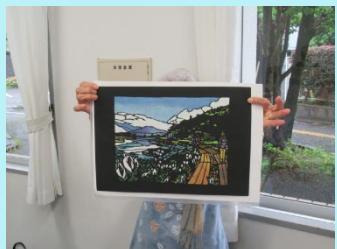
切り絵とは、紙などを切り抜き、風景や人物、動物などを表現する芸術です。切り抜く部分と残す部分を考えながら、輪郭や模様を切り取っていき、切り抜いたものを台紙に貼って作ります。色をつけたい場合は、切り取った紙の裏から、色紙などを貼り付けていきます。

時には、美しい色の印刷を見つけ、それに合わせた題材を考えることもあるそうです。初めての方でも、カッターやカッターマットなどの道具があれば手軽に始められます。（左右の切り絵は先生の作品）



メンバーの皆さんに、活動していて楽しいことや難しいこと、苦労することなどを伺いました

- ・毎回新しい発見があり、やりがいを感じます。
- ・作業をしていると面倒くさいと感じることもありますが、完成したらとてもうれしいです。
- ・始めて間もないので、カッターの持ち方も試行錯誤ですが、先輩方の作品を見るのが楽しみです。
- ・きれいに切るのに四苦八苦ですが、仕上がり工程の話を伺って今後の作品作りが楽しみです。
- ・切り絵作成中は集中できることと、出来上がった時の達成感がたまりません。



メンバーの方が素晴らしい作品を披露してくれました。



色を選ぶときは、外の光を透かしながらかいていきます。



この日は、空や雲を表現するときに使う、「ぼかし」の技法を中心に学んでいました。左の写真は、雲を表すマスクキングのパーツを紙の上に置き、その上から網とブラシを使って水彩絵の具を散らしているところです。

先生(代表)の井野さんに伺いました



ご自身のプロフィールについて

在職中は、趣味として切り絵を作っていました。退職後に本格的にやり始めたそうです。旅行も趣味で、国内外で感動した風景を切り絵にして楽しんでいるとのこと。

中川きりえの今後について

区民ギャラリーや、中川地区センターの展示を継続して、さらに魅力ある作品を紹介し、切り絵の良さを大勢の方に知っていただきたいです。メンバーを増やしたいので、色々な機会を通じてPR活動をしていきたいです。皆様の参加をお待ちしています。活動は、中川地区センターで毎月第1火曜日午前中、月会費は1,000円です。



団体への連絡や人財バンクに関するお問合せはこちら

いずみ区民活動支援センター

電話 800-2393 FAX 800-2518

E-mail iz-kuminkatsudou@city.yokohama.lg.jp

